

[←前のページに戻る](#)

[研究課題をさがす](#)

遷延性意識障害患者への看護介入効果の客観的・定量的評価指標の開発

研究課題

サマリー [▽](#)

研究課題/領域番号

16K12216

研究種目

基礎研究(C)

配分区分

基金

応募区分

一般

研究分野

高齢看護学

研究機関

[東部医療大学](#)

研究代表者

佐藤 光栄 [東部医療大学, ヒューマンケア学部, 教授 \(70461837\)](#)

研究分担者

杉本 昌弘 [慶應義塾大学, その他の研究科, 講師 \(30458963\)](#)

研究期間 (年度)

研究課題ステータス

交付(2017年度)

配分額 *注記

4,680千円 (直接経費：3,600千円、間接経費：1,080千円)
2018年度：1,560千円 (直接経費：1,200千円、間接経費：360千円)
2017年度：1,430千円 (直接経費：1,100千円、間接経費：330千円)
2016年度：1,690千円 (直接経費：1,300千円、間接経費：390千円)

キーワード

高齢者 / 遷延性意識障がい者 / 看護介入 / 背面開放座位 / 看護介入評価 / 快・不快 / 表情分析 / 脳波 / 口腔ケア / 看護学 / 脳神経疾患 / 生体材料 / 認知科学 / 生体機能利用

研究実績の概要

平成29年度は、意識レベルが低下していない65歳以上の対象とした「足浴が健康な高齢者、施設入居高齢者の生態に及ぼす影響—生理学的指標、気分評価尺度 (POMS) に対する評価—」に対する倫理審査及び、対象者、対象フィールドの承諾にことのほか時間を要し、平成29年度まで時間を要した。承諾が得られた意識レベルが低下していない地域で活動的に暮らしている65歳以上の対象11名、介護老人保健している65歳以上の高齢者11名を対象に次の看護ケアを実施し、課題の生理学的検査として、唾液IgA、簡易脳液計による脳波、写真、気分評価尺度 (POMS) を用いて測定した。しかし、唾液検体をELISA法によりIgA測定結果が未だ出そろっていないため、研究結果の公表に至っていない。また、簡易脳液計により看護ケア前、中、後において2分間ずつ測定し、脳波解析ソフト「ノリラックススライト」を用いて解析した。この詳細な分析の途中となっている。表情変化をケア前後に写真撮影を行った。これらのデータ結果をあわせて検討することが必要である。今年度は唾液検査と機能的口腔マッサージとの関連性について、オープンアクセスではあるが、英文投稿した。合わせて、対象者を遷延性意識障がい患者に対して行う研究の倫理審査委員会による検討を行い、委員会の承認がえられ、研究フィールドである施設の承諾を得、対象者11名の選定まで行った。

現在までの達成度 (区分)

現在までの達成度 (区分)

3：やや遅れている

理由

一昨年度の遅れが響き、健康な高齢者や意識レベルは低下していない高齢者のデータ収集はできているが、遷延性意識障害者のフィールドにおける対象者の選定、及び対象者家族からの同意を得ている途中である。これらにより、遅れが出ている。

今後の研究の推進方策

平成30年度は、選定した遷延性意識障がい患者家族および代諾者への説明と同意を得、看護実践及び評価指標となる生理学的検査、表情、意識レベルの変化についてデータ収集を行う。昨年度11名の対象者の選定をしていたが、人数的に不足しているため、フィールドを広げ、さらに対象者を増やす。研究結果を分析し、昨年度の結果について学会発表および論文投稿を行う。また今年度得られた結果について、分析し結果を学会発表に応募する。

報告書 (2件)

2017 実施状況報告書

2016 実施状況報告書

研究成果 (5件)

すべて 2018 2017 2016

すべて 雑誌論文 学会発表

[雑誌論文] Effect of oral functional training on immunological abilities of older people: a case control study 2018 ▼

[雑誌論文] Evaluation of nursing interventions using minimally invasive assessments methods for patients in a persistent vegetative state 2017 ▼

[雑誌論文] Evaluation of nursing interventions using minimally invasive assessments methods for patients in a persistent vegetative state 2017 ▼

[学会発表] 高齢者施設におけるドリンクヨーグルト摂取とBMIの高低と唾液IgAの変化の違い 2016 ▼

[学会発表] 人工呼吸器を装着し自立生活を送る筋ジストロフィー—青年への食べる楽しみを取り戻す取り組み 第2報 2016 ▼

URL : <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16K12216/>

公開日 : 2016-04-21 更新日 : 2018-12-17